

消防団たずね歩き

「メリケンパーク」と共に歩む消防団を目指して

水上消防団メリケン分団は、メリケンパークや神戸ポートタワーがある波止場町全域及び神戸港一円を管轄区域としています。20名の団員で構成されており、波止場町の中突堤中央ビル北側に分団詰所を構えています。

メリケン分団の多くの団員は船舶業務に従事しているため、平成元年からタグボート8隻を消防業務協力艇に登録して、陸上はもちろん海上からも港町神戸を守っています。

私たちの主な活動エリアであるメリケンパークには観光客に大人気のインスタ映えスポット「BE KOBE」のモニュメント。公園のすぐそばには、船にまつわる展示を行う海洋博物館、日本を代表するホテルの1つであるホテルオークラ、神戸のランドマークである神戸ポートタワーがあります。

消防団としての活動も、年始の行事である神戸市消防出初式をはじめ、ポートタワーで行われる文化財防火デーの一斉放水訓練、みなとこうべ海上花火大会やこうべ海の盆踊りの警備など、ここメリケンパークと共にあります。

そんな神戸っ子なら誰でも知っているメリケンパークですが、あまり知られていないのがその名前の由来だと思えます。

メリケンパークはもともと、1868年に明治政府が開設した「メリケン波止場」という波止場があった場所でした。メリケンとは「アメリカ」がなまった言葉です。波止場の近くに米国領事館があったことからこの名がつけられたそうです。1987年にこの波止場一体を埋め立てて、メリケンパークが完成しました。



コロナ禍がまだ完全に収束しない中ではありますが、少しずつパーク内のイベント等も再開され賑わいを取り戻しているように感じます。これからも訓練を重ね、港町神戸の安心・安全を守るため、神戸市民の憩いの場である「メリケンパーク」と共に歴史を刻みながら、市民のみなさまに愛される消防団となるよう尽力したいと考えています。

(水上消防団メリケン分団分団長 山本泰生)

地域に根付いた消防団を目指しています！